

# マイクロソフトの ビジネス戦略

マイクロソフト株式会社  
アカデミックテクノロジー推進部長

伊藤 信博

[nito@microsoft.com](mailto:nito@microsoft.com)

Web: <http://www.microsoft.com/japan/academic/>

The logo for 'nito' is written in a stylized, rounded, lowercase font. The letters are white with a blue outline, and the 'i' has a blue dot.

# 自己紹介

✓ 生まれ  
東京都町田市：母 韓国人、父 日本人

✓ 大学  
明治学院大学国際学部卒業  
就職活動：  
音楽業界 → IT業界

✓ 1992～1999年  
日本NCR株式会社  
製造および通信業界担当営業

✓ 1999～現在  
マイクロソフト株式会社  
中小規模事業所担当マーケティングスペシャリスト  
サービス担当マーケティングスペシャリスト  
アカデミック エバンジェリスト：2007年夏 米国本社、韓国勤務  
アカデミック市場担当の推進部長



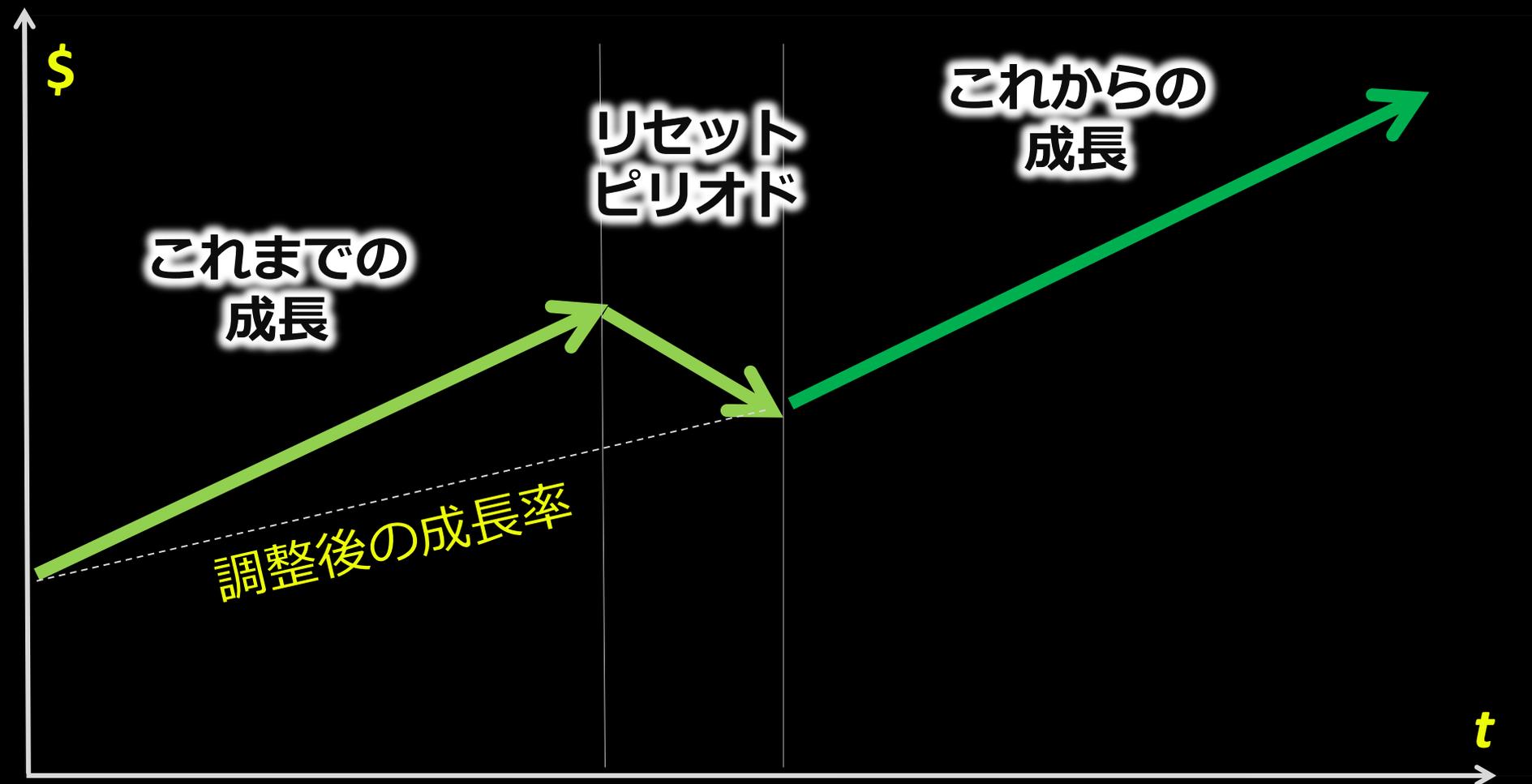
# 本日の内容

1. マクロ経済の影響とIT
2. マイクロソフトのビジネス戦略
  - ✓ クラウドビジネスの加速
  - ✓ 教育・子ども向け取組み
3. チャレンジする機会の提供  
Imagine Cup
4. Q&A大会 (延長戦大歓迎☺)

# マクロ経済の影響とIT

# マクロ経済の影響

## 経済環境



# 経営視点で見るIT

**コスト競争力！  
生産性！**

**機動力！  
柔軟性！**

**標準化！**

# マイクロソフトのビジネス戦略

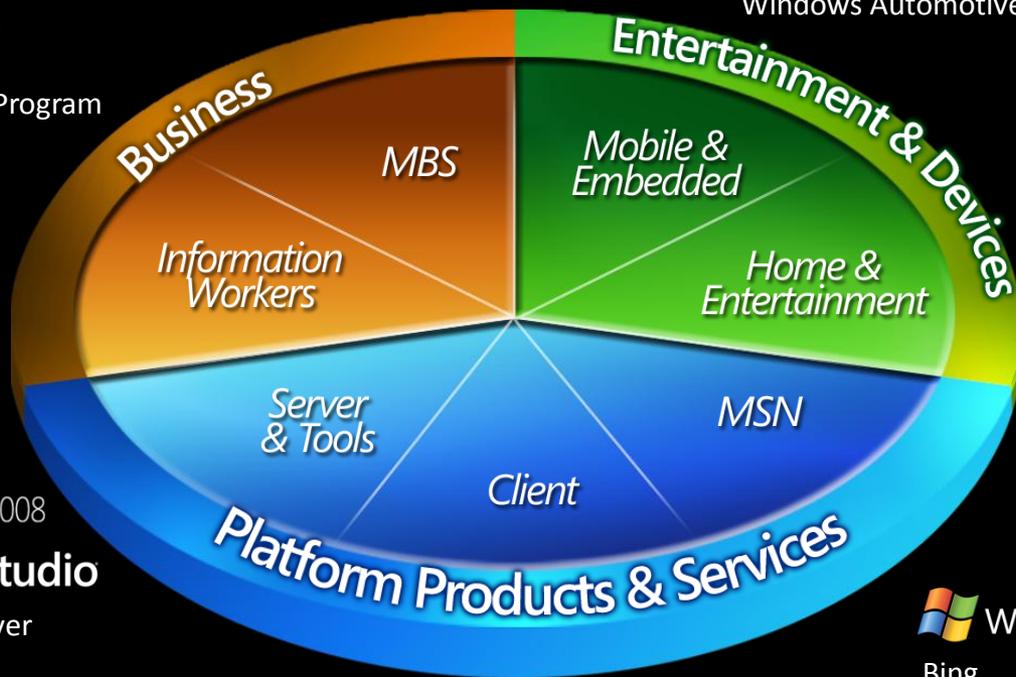
# マイクロソフトのビジネス領域


**Microsoft Dynamics**  
 Microsoft Great Plains  
 Microsoft Navision  
 Microsoft Axapta  
 Microsoft Solomon  
 Microsoft CRM  
 Microsoft Partner Program


**Windows Mobile**  
 Windows Mobile  
 Windows Embedded Device O/S  
 Windows Automotive




**Office** Microsoft®  
 Microsoft Office  
 Microsoft Project  
 Microsoft Visio  
 SharePoint Server  
 Microsoft LiveMeeting  
 OneNote




**XBOX 360**



Xbox360  
 Xbox LIVE  
 Kinect  
 TV platform


**Windows Server 2008**


**Visual Studio**

Windows Server  
 SQL Server  
 Exchange Server  
 System Center  
 Developer Tools  
 Training, Certification & MS Press  
 Premier Product Support Services  
 Microsoft Consulting Services  
 Professional Product Support

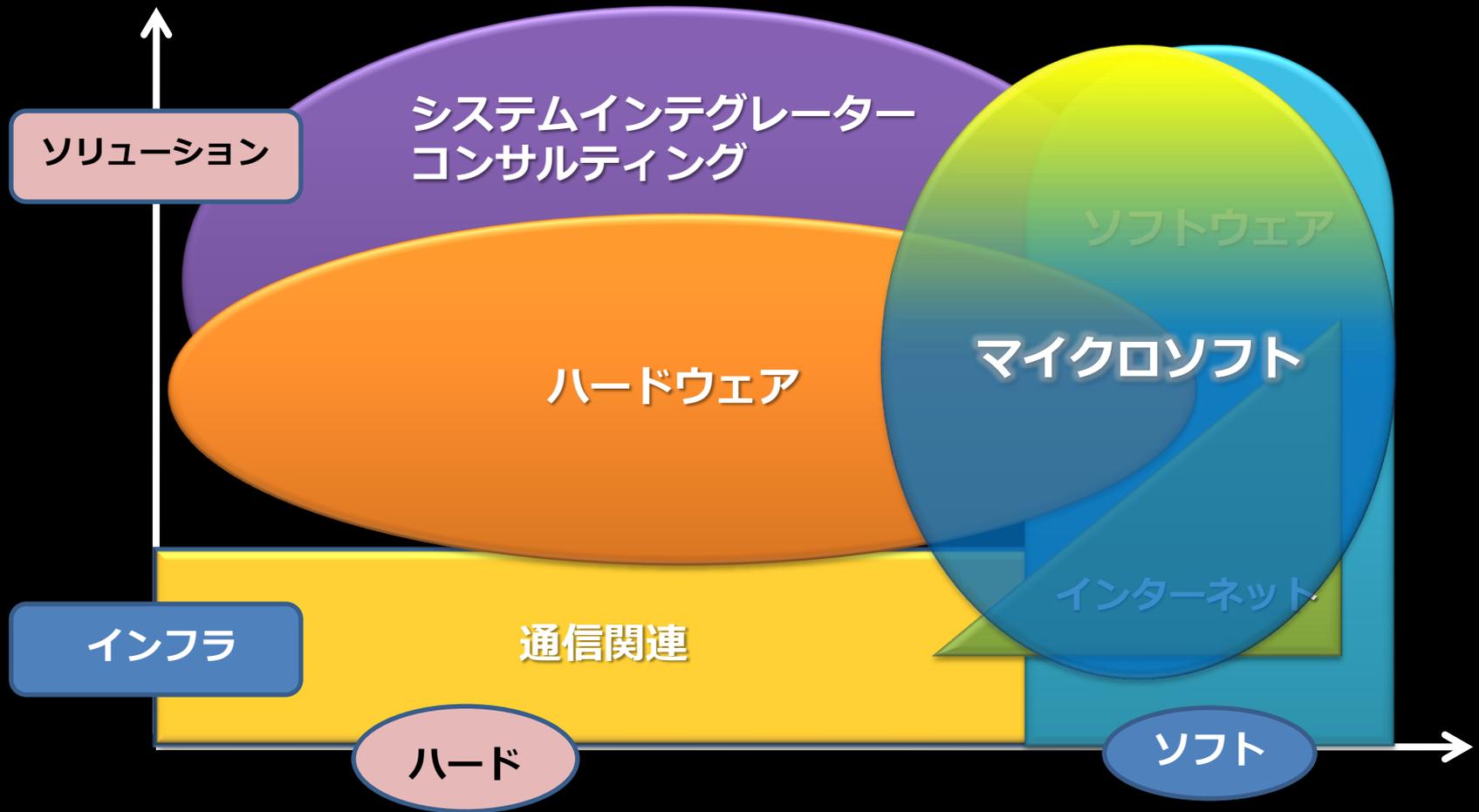

**Windows**   
 Windows 7  
 Windows Vista  
 Windows Home Server  
 Windows Internet Explorer  
 Other standard Windows O/S




**Windows Live™**  


Bing  
 Windows Live Hotmail  
 Windows Live Messenger  
 MSN9 Premium

# IT業界の進化



# クラウド時代をリードし続ける マイクロソフトのビジョン



# ビジネス戦略/ 今年度注力分野

## クラウド ビジネスの加速

- ・社内体制強化
- ・パートナーシップ  
推進
- ・オフアリング拡大

## ソリューション ビジネス推進

- ・成長分野
- ・エコシステムの  
充実

## PC活用の 拡大

- Windows 7  
Microsoft Office 2010 の本格展開
- ・オンラインサービス  
拡充
- ・教育・子ども向け  
取組み

お客様、パートナー様からの信頼の獲得  
+  
セリング&マーケティングモーションの進化



# クラウドビジネスの加速



マイクロソフト本社では約4万人がソフトウェア開発に携わっている。そのうち70%がクラウドに関する仕事に就いている。

今後1年で、その比率は**90%**に高まるだろう。

# 経営視点で見る クラウドのメリット

コスト競争力！  
生産性！

機動力！  
柔軟性！

標準化！

初期投資

- ✓インフラ構築費用が不要
- ✓資産計上不要

スピード

- ✓すぐにアプリの開発、利用が可能
- ✓変化の速いニーズに対応

運用

- ✓システム管理業務をアウトソース可能
- ✓遠隔地での冗長化で事業継続性を確保

短期利用

- ✓従量制課金であるため、容易に停止可能
- ✓キャンペーンサイトやパッチ処理に有効

スケーラ  
ビリティ

- ✓ネットワーク経由で無限の拡張が可能
- ✓大規模対応のための構築・運用技術は不要

# 世界規模での オンラインサービス基盤の整備



## ● オンラインサービスの拡大

- Live ID の認証件数: 300億 / 月
- メッセンジャーの処理数:  
2,400億 / 月
- 合計 4,000万ユーザーが  
MS Online Services を利用

## ● 継続的な大規模 DC への投資

- データセンター建設に5億ドルを投資
- 次世代モジュラー型DC への移行
- シカゴ DC の構成
  - 220 コンテナ (550,000サーバー)
  - PUE (Power Usage Effectiveness) = 1.22

# クラウドテクノロジー ロードマップ

現在

今後半年

2011年以降



クラウド  
プラットフォーム

- Windows Azure
- Windows Server
- BPOS
- Office Web Apps

- Azure VM Role CTP
- Project "Sydney" CTP
- Dynamics CRM Online
- Office 365 Beta

- Azure 機能拡張  
"Dallas"
- Office 365



ユーザー  
エクスペリエンス

- Internet Explorer 8
- Silverlight 4
- WPF
- Windows 7

- IE9 Beta
- Windows 7 SP1

- Internet Explorer 9



設計・開発  
ツール

- Visual Studio 2010
- Expression 3

- Expression 4
- Windows Phone Tools

- Visual Studio  
LightSwitch

# “Dallas” で広がる データ配信ビジネス

Microsoft®  
Codename “Dallas”

コンテンツ  
プロバイダー



DATA.GOV

AP Associated Press  
the essential global news network



マーケット  
プレイス

課金

アカウント  
管理

情報を  
フィード



Odata 等で  
アクセス

次世代クラウドアプリケーション



# Office 365の発表 (10月19日)

Microsoft Office、SharePoint(R) Online、Exchange Online、そして Lync Online を一体化し、常に最新の状態を維持できるクラウド サービスとして提供

- 13か国でベータ提供開始
- 正式版は来年提供予定
- あらゆる規模の組織で活用可能
- 柔軟な機能選択と価格オプション
- セキュアでシンプル
- デバイスおよびロケーションフリー
- BPOSからの安全な移行



# ビジネス戦略/ 今年度注力分野

## クラウド ビジネスの加速

- ・社内体制強化
- ・パートナーシップ  
推進
- ・オフアリング拡大

## ソリューション ビジネス推進

- ・成長分野
- ・エコシステムの  
充実

## PC活用の 拡大

- Windows 7  
Microsoft Office 2010 の本格展開
- ・オンラインサービス  
拡充
- ・教育・子ども向け  
取組み

お客様、パートナー様からの信頼の獲得  
+  
セリング&マーケティングモーションの進化



# 教育分野における マイクロソフトの海外での取り組み

イギリス  
ホーム  
アクセス  
プログラム



アメリカ  
スクール オブ  
フューチャー



ポルトガル  
マゼラン  
プロジェクト



シンガポール  
バックパック  
ライブ!



# 他国との比較【PC所有率】



# 子ども向け Office

## Dr.シンプラー 2010 Lite



- 小学校低学年児童用の無償アドインツール ※旧名 Office きっず
- ゼッタテクノロジー株式会社と連携し拡大提供
- Word、PowerPoint に加え、新たに OneNote 版も提供
- アクセシビリティへの対応
  - 音声読上げソフト対応、ソフトウェアキーボード搭載
- 学年別辞書、学年別表示モード搭載
- 授業で使えるテンプレート 200 種類用意



ゼッタテクノロジーのサイトにて2010年6月より提供開始  
<http://www.drsimples.net/>

# 教育機関向け プレゼンテーション用ツール

## Microsoft Mouse Mischief

- PowerPoint 用無償アドインツール
- インタラクティブなプレゼンテーションを実現
- 子ども用の PC がない環境、極端に少ない環境に有効
- PC 操作がまだ難しい子ども相手の授業時に有効
- PowerPoint 2007、2010に対応

### 活用例

- 公民館や図書室での読み聞かせ
- 特別支援学校での授業
- 小学校の普通教室での授業



教育機関向けに2010年6月より無償提供開始

<http://www.microsoft.com/japan/multipoint/mouse-mischief/>

# 教育環境の整備/強化に向けて

ICTインフラ  
整備  
(PC/ネットワーク)

教材コンテンツ  
のデジタル化

教員/子どもの  
ITリテラシー  
の向上





チャレンジする機会の提供  
Imagine Cup

# 世界最大の学生向けITコンテスト

imagine cup 2010

競技部門

software design

ソフトウェア デザイン部門

EMBEDDED DEVELOPMENT

組み込み開発部門

Game Design

ゲームデザイン部門

Digital MEDIA

デジタルメディア部門

I.T. CHALLENGE

ITチャレンジ部門

# Imagine Cupとは

- マイクロソフトが主催する世界最大の学生向けITコンテスト
- 高度人材育成の一環として、学生のチャレンジの場として2003年より開始
- Imagine Cup 参加者：のべ100万名の学生が参加



# Imagine Cup 日本チームの実績

## 【 第6回 Imagine Cup 2008 】

アルゴリズム部門 **第3位**

慶應義塾大学 高橋直大

## 【 第7回 Imagine Cup 2009 】

写真部門 **第3位**

武蔵野美術大学 寺田志織

## 【 第4回 Imagine Cup 2006 】

ソフトウェアデザイン部門

鈴鹿工業高専 大居司 海城高等学校 竹井悠人、  
大阪大学大学院 中山浩太郎、前川 卓也

**Best6**

ビジュアルゲーミング部門

立命館大学 鈴木 海靖、海城高等学校 竹井 悠人

**Best6**

## 【 第3回 Imagine Cup 2005 】

ソフトウェアデザイン部門

大阪大学大学院 中山 浩太郎、前川 卓也、  
富安 宏和、ローズ・ロバーツ

**Best8**

ビジュアル  
ゲーミング部門

灘高等学校 加藤新英

**第1位**

ビジュアル  
ゲーミング部門

一関工業高等専門学校  
熊谷一生

**第3位**

# Imagine Cup 2010 Winners

- ソフトウェアデザイン部門  
**1位：タイ** 2位：セルビア 3位：ニュージーランド
- 組み込み開発部門  
**1位：台湾** 2位：ロシア 3位：フランス
- ゲームデザイン部門  
**1位：フィリピン** 2位：ベルギー 3位：フランス
- デジタルメディア部門  
**1位：台湾** 2位：サウジアラビア **3位：シンガポール**
- ITチャレンジ部門  
**1位：中国** 2位：ボリビア **3位：シンガポール**



# Imagine Cup のテーマ

*Imagine a world where technology helps solve the toughest problems*  
想像しよう。地球規模の難題がテクノロジーの力で解決される、そんな未来を。

～国連ミレニアムの開発目標を参考に～

1. 極度の貧困と飢餓の撲滅
2. 普遍的な初等教育の達成
3. ジェンダーの平等の推進と女性の地位向上
4. 幼児死亡率の引き下げ
5. 妊産婦の健康状態の改善
6. HIV/ エイズ、マラリア、その他の疾病の蔓延防止
7. 環境の持続可能性の確保
8. 開発のためのグローバル・パートナーシップの構築



## 過去のテーマ

2008: テクノロジーの活用による、環境保護の実現に向けて

2007: テクノロジーの活用による、より良い教育の実現に向けて

2006: テクノロジーの活用によるより健康な生活の実現に向けて

2005: テクノロジーの力であらゆる境界をなくしていこう

2004: テクノロジーの力で日常を生活しやすくしよう

2003: ウェブサービスや.NETを使って、人、情報、システム、デバイスをつなげよう

USA 2011  
imagine X cup™  
by Microsoft®

# Imagine Cup 2011



# Imagine Cup 2011 ニューヨーク世界大会

- ソフトウェアデザイン部門（日本大会開催予定）
- 組み込み開発部門（日本大会開催予定）
- ゲームデザイン部門
  - Windows / Xbox (XNA)
  - Web (Silverlight)
  - Mobile (Zune / Phone)
- デジタルメディア部門
- ITチャレンジ部門



# Imagine Cup 2011 目指せ、ニューヨーク！

USA 2011  
imagine X cup™  
by Microsoft



# まとめ

1. 学生のみなさん向け、無料のダウンロードサービスをフル活用しましょう  
速くて、便利で、安全なWindows 7とInternet Explorer 9 Betaの組み合わせがおすすめ

bing™ ドリームスパーク 

bing™ IE9 Beta 

2. 世界へチャレンジした証を残しましょう  
Imagine Cup (参加登録無料)

bing™ イマジンカップ 



# Q&A

アンケートにご協力下さい

# *Microsoft*<sup>®</sup>

We're  all in.

© 2010 Microsoft Corporation. All rights reserved. Microsoft, Windows, Windows Vista and other product names are or may be registered trademarks and/or trademarks in the U.S. and/or other countries. The information herein is for informational purposes only and represents the current view of Microsoft Corporation as of the date of this presentation. Because Microsoft must respond to changing market conditions, it should not be interpreted to be a commitment on the part of Microsoft, and Microsoft cannot guarantee the accuracy of any information provided after the date of this presentation.

MICROSOFT MAKES NO WARRANTIES, EXPRESS, IMPLIED OR STATUTORY, AS TO THE INFORMATION IN THIS PRESENTATION.

# 挑戦してますか？

自分×仲間×挑戦 = 新しい自分

## <スキルアップ>

- 自分の才能を試せる、力試し
- IT業界のリーダーになる一歩
- 自分の強みを鍛える
- 自分の努力の成果を発表する場

## <世界を知る>

- 世界のビジネスシーンに直結するアイデアを体感できる
- 世界のレベルを知る、世界が見える、視野が広がる
- 他の国の学生と触れ合える
- 日本には分からないことを知る場

## <人間力>

- チームワークで結果を出そうとする過程
- コミュニケーション能力が試される
- 競争。良質の悔しさ。これ以上ない努力
- 結果が評価される
- 表現力が試される
- 人間力 人生を考えるうえで自分の在り方を知る
- 成長のスピード
- 伸びる可能性のある段階にチャレンジを
- チャレンジ精神

# 第8回 Imagine Cup 2010

- ・ 開催地：シヨパン生誕200年で盛り上がる ポーランド ワルシャワ
- ・ 開催時期：2010年7月3日 - 8日
- ・ 参加人数：100を超える国と地域 32万名から選抜、450名の学生が参加
- ・ 部門数：全5部門
- ・ 日本代表：2部門
  - ソフトウェアデザイン部門 筑波大学附属駒場高校 PAKEN
  - 組み込み開発部門 国立 東京工業高等専門学校 CLFS





# SOFTWARE DESIGN



- テーマに関連した**ソフトウェアの開発**
- **最大4名**のチームで参加可能
- **日本大会 書類応募締切**  
2010年1月下旬
- 日本大会開催  
2010年3月下旬

Top1

日本大会優勝チーム  
2011年7月  
世界大会参加

Top3

日本大会  
2011年3月下旬

日本大会  
書類審査





# EMBEDDED DEVELOPMENT

- Ebox、Windows Embedded CEを使ってテーマに関連した**組み込み開発**
- **最大4名**のチームで参加可能
- **日本大会 書類応募締切** 2010年1月下旬
- **日本大会開催** 2010年3月下旬



USA 2011  
imagine X cup™  
by Microsoft

Top1

Top3

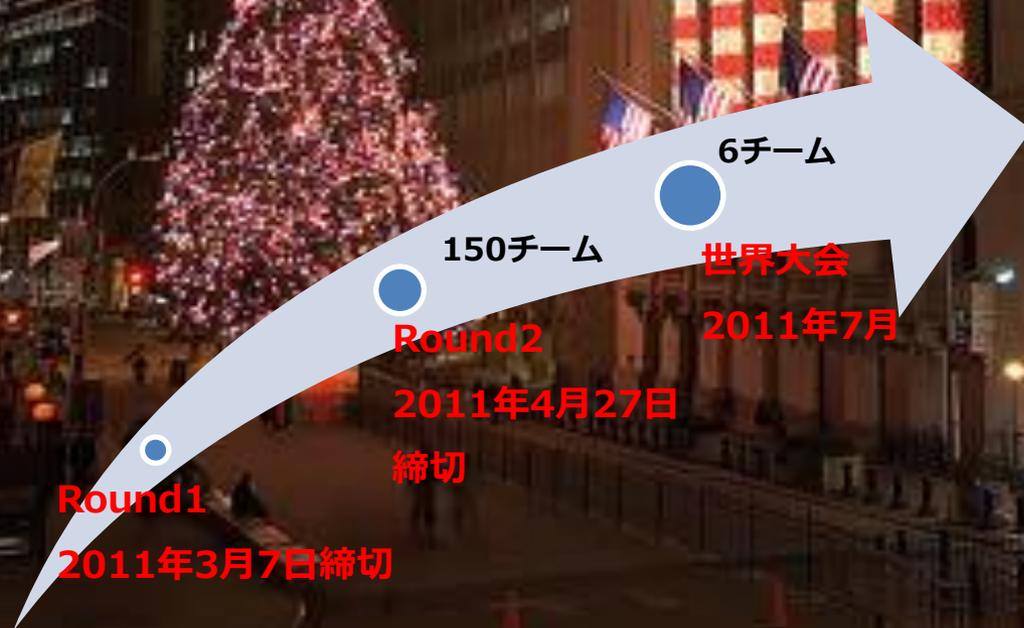
日本大会  
書類審査

日本大会  
2011年3月下旬

日本大会優勝チーム  
2011年7月  
世界大会参加



# GAME DESIGN



Round1

2011年3月7日締切

Round2

2011年4月27日

締切

150チーム

世界大会

2011年7月

6チーム



- テーマに関連したゲームの作成：4名のチームで参加可能
- **Microsoft® XNA™ Game Studio 3.0** 以降または **Visual Studio** が **Silverlight** テクノロジーを使用し、Windows/XNA, Web, Windows Phoneで動作するゲームを作成する



世界共通 **オンライン予選** 開催



# DIGITAL MEDIA

- テーマに関連した**動画作品を作成**
- **最大4名**のチームで参加可能
- 世界共通オンライン予選

TIFFANY & CO.

USA 2011  
imagine cup  
by Microsoft

6チーム

Round2  
2011年4月下旬  
締切

世界大会

2011年7月

150チーム

Round1  
2010年10月～  
2011年3月  
毎月

毎月20チーム  
計140チーム



# DIGITAL MEDIA

- 第一ラウンド (2010)



他

- 第一ラウンド選考基準 (2010)

- 6つのサブラウンドがあります。各サブラウンドは、2009年10月から2010年3月までの毎月5日に開始し、月末の23:59 (午後11:59) GMTに終了します。
- 各サブラウンド後エントリー得票数の多い上位20本が第2ラウンドへ進出。
- 第2ラウンドへの進出決定チームは第1ラウンドへの参加を続ける必要はありません。進出の決まったチームのエントリーへの投票はできなくなります。
- 第1ラウンドの最後に、まだ進出を決めていないチームの中で、6か月間の合計得票数が多い上位20チームが第2ラウンドに進出します

6チーム

世界大会

2011年7月

Round2  
2011年4月上旬締切

Round1  
2010年10月～2011年1月  
クイズに回答

## 2010の内容

- テーマに関連した**オンラインクイズ受講**
- 応募 2009年12月16日（水）、2010年1月7日（木）  
2010年1月31日（日）の12:01～23:59（GMT）
- 60分間で30問のクイズに解答：**15点以上**で通過

# ITはより重要な位置づけに

ソフトウェア  
エコシステム

IT  
イノベーション

経済成長

日本でのITによる経済効果

マイクロソフト エコシステム

→ 369,000人の従事者

→ 4.2兆円のエコシステム  
による収益

IT 成長率 2009-2013:

→ **121,000の**

**IT職種新規雇用**

→ **2,000の新興企業**

Source: IDC, The Economic Impact 2009